

関鍛冶伝承館 特別企画展 『会津兼定～美濃伝を受け継いだ名工～』 を開催します

会津兼定(古川兼定)とは、関鍛冶を代表する刀工・和泉守兼定の後裔と伝わる刀工たちで、室町時代末期に会津の戦国大名・芦名盛氏に招かれ移住したとされます。その後歴代の藩主に仕え、明治時代の十一代兼定まで作刀を続けました。また会津五鍛冶(古川兼定・下坂為康・三善道長道中条道辰・鈴木兼友)の一角をなし、会津兼定は鈴木兼友とともに当地において美濃伝風の作風を伝えています。

本企画展では、関鍛冶の後裔にあたる会津兼定の作風に焦点をあて、会津兼定の刀剣とその作風のもととなった関の刀剣を展示します。また、あわせて会津における美濃伝ゆかりの刀剣とともに展示することで、会津という土地で繁栄した刀剣文化を紹介し、その一角をなした関鍛冶をルーツとする刀工たちの存在を広く周知したいと考えています。



太刀 銘 大日本兼定／紀元二千五百五十八年八月日 個人蔵
「撮像：中村 慧、画像提供：岐阜県博物館」



刀 銘 兼元(関市指定重要文化財) 関鍛冶伝承館蔵

1. 主催 関市
2. 協力 関伝日本刀鍛錬技術保存会
3. 会期 令和元年10月5日(土)～11月25日(月)
4. 開館時間 午前9時～午後4時30分
5. 休館日 火曜日・祝日の翌日(いずれも休日を除く)
6. 会場 関鍛冶伝承館 1・2階展示室
7. 入館料 大人 500円 高校生 200円 小中学生 100円
(団体料金 大人 450円 高校生 150円 小中学生 50円)

〈本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先〉

関市役所北庁舎 2階 産業経済部観光課 担当：江西
TEL：0575-23-7704 FAX：0575-23-7741